

Welcome To The Pro's Specs

安全性と動きのグッドバランス 解体現場の知恵詰めた安全靴

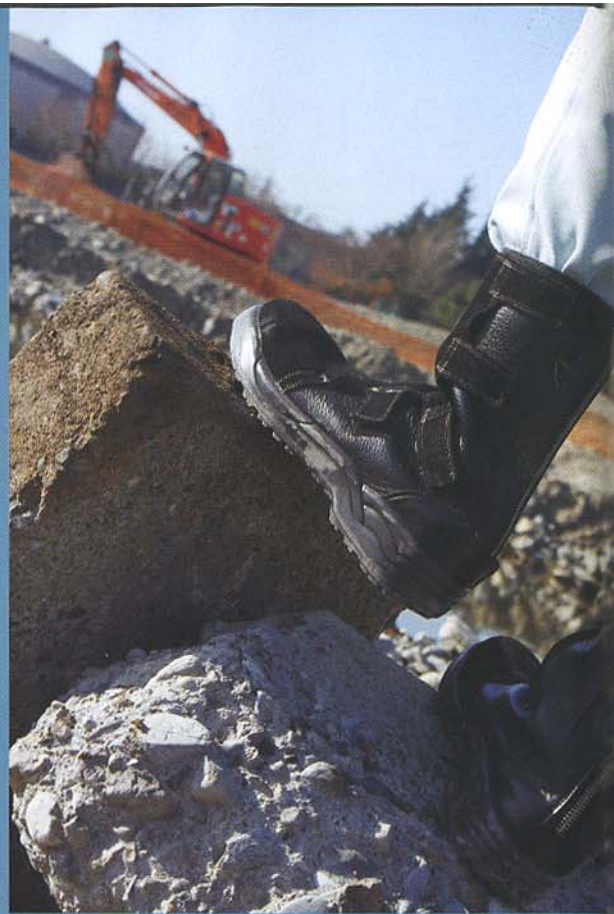
がれきの転がる不安定な足場、崩れ落ちる壁や天井、破壊力のある重機を駆使する作業―解体工事は間違いなく危険な仕事だ。そこに携わるプロは足元から守るために、07年5月に登場したのが、日本初の解体工事専用安全靴、その名も「壊し屋建さん」だ。

格闘家の愛称のようなネーミングのこの靴を製造するのは、安全靴専門メーカー、ノサックス(広島県東広島市)舗装工事専用靴など、専門性の高い作業向けの靴づくりを得意としている。開発にあたっては、解体工事作業員に試作品を実際に履いて作業してもらい、半年以上モニターした。

「踏み抜き事故を防いでほしい」といった安全性と、「もつと軽く」などの動きやすさを求める意見に分かれ、「その間のバランスに苦心しました」と商品開発を担当した八木強氏は話す。

こうして出来上がった建さんは、例えば最高レベルの耐踏み抜き性能を備えながら、足裏の曲げ伸ばしに不自由がなく、重機のペダル操作にも支障がないなど、安全と動きやすさを高次元で両立させたものになった。さらに大きな特徴は、足入れ口からかかとまで後ろの部分が完全に開くバックファスナー。脱ぎ履きがラクになり、長靴を履くときの足を押し込む煩わしさを嫌う作業員たちに好評だ。

解体業者だけでなく、建築、土木から運輸、工場の軽作業者まで、幅広い業種の現場で働く人たちにもよく売れている。考えてみれば、最も危険な職場の一つ、解体の現場での安全性や動きやすさを追求した建さんが、ほかの現場でも通用するのは当然のこと。さらに、地震などのための一般向け防災用品としても注目され始めている。



ノサックス/壊し屋建さん

サイズ24.5~28.0cm。重さ約1120g(両足の合計)。
実勢価格7980円。問い合わせ先☎082-425-3241
<http://www.nosacks.co.jp/>

かかとまで大きく開く 着脱簡単ファスナー

バックファスナーを安全靴として初めて採用。かかとまで完全に下ろすことができ、着脱が容易だ。足を押し込む煩わしさが無い



踏み抜きの心配無用 ステンレス板が底に

強く薄いステンレス板を底に入れ、片足に100kg以上の力をかけてくぎなどを踏んでも安心の高踏み抜き性能。しかも、曲げやすい



前面を覆う耐熱床革 ガス溶断の火玉防ぐ

前面に熱に強い耐熱床革を採用。ガスで焼き切る作業で飛び火や熱から足を守る。縫製には耐熱性のアラミド繊維系を使用している

①同社の安全靴のノウハウが生きたウォーキングシューズ「モアフィット」。先端に樹脂芯入り



②底はウレタンと耐油耐滑ゴムの2層構造で滑りにくく軽量で、クッション性が高い

プロの 七つ 道具

number
44



締め具合を調節できるマジックベルトが4カ所。足首をくじかないようにつまみ固定できる

